

いばらき能

NOH@IBARAKI

汝知らずや我昔
葛城山に年を経し
土蜘蛛の精魂なり

能 土蜘蛛

仕舞 桜川 山本章弘

狂言 鐘の音 小笠原 匡

◆平成27年3月15日(日)午後2時開演

◆茨木クリエイトセンター・センターホール

◆主催 公益財団法人茨木市文化振興財団
◆制作 公益財団法人山本能楽堂／三栄企画
◆後援 茨木商工会議所／茨木市観光協会

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE



山本章弘



山本章弘(やまもと・あきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本真義に師事し、昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清河寿に師事。3歳にて初舞台。主な披曲は「石橋」「狸々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砧」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学及び大阪樟蔭女子大学能楽部講師。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」なども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」などにわ大賞大阪21世紀協会賞などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ
http://www.noh-theater.com/

◆演目解説

◆仕舞 ^{さくらがわ} 桜川

我が子に生き別れた母は、狂乱のあまり散る桜の花の下で舞い、花びらの中に子の面影を探す。
※仕舞とは、能の見せ所を装束を付けず、地謡のみで舞うものです。能の稽古の基本でもあり、絵画でいうデッサンに例えられます。

山本章弘

◆お囃子解説

◆狂言 ^{かね} ^ね 鐘の音

主人に「金(かね)の値」を聞いて来いと言われた太郎冠者は、これを「鐘の音」と取り違えて、鎌倉中の鐘の音を聞き歩きその様を報告する。

太郎冠者 小笠原 匡
主人 泉 愼也
後見 奥井智大

◆能 ^{つちぐも} 土蜘蛛

病に伏せている源頼光(ツレ)がふと庭先を見ると、どこから現れたのか怪しげな僧(前シテ)が立っています。お前は誰かと問答をしていたかと思うと、ずっと頼光のそばに近寄り、突然蜘蛛の巣糸を投げかけてきます。とっさに頼光は枕元においてあった刀で糸を払いのけ、怪僧は傷を負い逃げ去りました。(中入)
物音を聞き急ぎ駆けつけた独武者(ワキ)に、頼光はこの事を語ります。驚いた独武者はその正体を暴こうと、血痕をたどり葛城山に到ります。舞台には塚の作り物(大道具)が出されます。大道具には「引廻(ひきまわし)」という大きな布がかけられており、怪しさを一層強調しています。
岩陰より土蜘蛛の精(後シテ)が現れ、巣糸を投げかけ投げかけ武者たちに襲い掛かってきました。戦いの末、ついには土蜘蛛を退治し、帰路に着くのでした。

怪僧・蜘蛛の精 山本章弘
源頼光 大西礼久
胡蝶 山本麗晃
太刀持 上野朝彦
独武者 福王知登
下人 小笠原 匡
後見 赤瀬雅則
後見 梅若基徳
笛 赤井要佑
小鼓 古田知英
大鼓 森山泰幸
太鼓 中田弘美
地謡 河村栄重
吉井基晴
井戸良祐
林本 大
今村哲朗
上野雄介

【見どころ】
「汝知らずや我昔 葛城山に年を経し 土蜘蛛の精魂なり」
登場する源頼光は、一条戻橋や羅城門で鬼を斬った渡辺綱や金太郎としても知られる坂田金時たちを「頼光四天王」として従えた平安時代を代表する勇将です。歴史的には「よりみつ」と読むのが正しいのですが、能では敬意を払って「ライコウ」と音読みされ(安倍晴明[セイメイ]や藤原定家[テイカ]など同様)、この《土蜘蛛》のほか《大江山》にも登場し、まるで鬼退治のエキスパートとでも言うべき存在として描かれます。
本来「土蜘蛛」とは、古代に大和朝廷に反抗した土着の豪族たちのことを、貶めて歴史書に記した名前です。その土蜘蛛を実際の蜘蛛の怪物として登場させたのが、この能《土蜘蛛》で、見た目にはショー的で派手な演目ですが、その裏に歴史の中に葬り去られた土蜘蛛たちの鎮魂の意味も込められているのです。

茨木市文化振興財団第179回公演

平成27年3月15日[日] 午後2時開演(午後1時30分開場/午後4時30分終演予定)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号072-624-1726/JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

[全席指定] 一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年[24歳以下]1,000円 *就学前のお子様はご遠慮ください
◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団のみです)

12月6日(土)午前9時 インターネット・電話予約開始 残席がある場合は翌日から窓口販売いたします

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(茨木市市民会館ユアイホール1階 午前9時~午後5時)/インターネットチケットwww.ibabun.jp
財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

ユアイホールチケットカウンター(午前9時~午後5時)/クリエイトセンターチケットカウンター(午前9時~午後5時)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。払込手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座)00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

◆その他プレイガイド(12月6日店頭販売あり 午前10時~)

ローソンチケット0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約0570-084-005(Lコード55961)*ローソンチケットの取り扱いチケットはローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。電子チケットびあ0570-02-9999(Pコード440-559)*チケットびあの取り扱いチケットはサンクス、サークルK、セブンイレブン各店舗で直接購入できます。

能 NOH 体感講座~入門編「3・15いばらき能をより楽しむために・・・」

能について、3・15公演演目について、映像や謡の体験等もまじえ、観世流能楽師・山本章弘がやさしく楽しくお話しします

◆日時:平成27年3月8日(日)午後2時~午後3時30分 ◆会場:茨木クリエイトセンター・多目的ホール

◆定員:150人(就学前のお子様はご遠慮ください) ◆受講料:500円[12月6日(土)午前9時電話予約開始]

◆お申込み・お問合せ:(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係072-625-3055(午前9時~午後5時)

